

富士川町

第 63 号

令和8年(2026年)1月26日発行



# 議会だより



檜形山の自然を未来へつなぐ

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



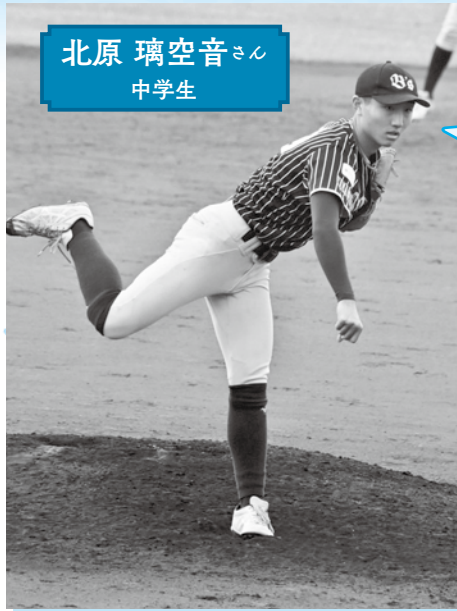
# 町政への願い

(12月議会)

目次

## 第4回定例会

令和7年12月5日~12月12日



北原 璃空音さん  
中学生

バンディッツで過ごした3年間。仲間と共に負ける悔しさと勝つ喜びを学びました。この経験を活かし高校でも頑張りたいです。



黒川 成樹さん  
自営業

富士川町に移住し、魅力にぐいぐい惹き込まれています。この町の素晴らしさを遠方の方にも実感して欲しい！まちに暮らすように泊まれる、そんな本屋さんを作れたら！



根岸 大さん  
大学生

今年から山梨ファイアーウィングスの一員になる。チームの顔になれるよう、まずレギュラーを取る。富士川町は盆地の南玄関として発展してほしい。

今を楽しみ、今しかできないことに挑戦する。体育館建設や医療制度の充実など町民の声が届き反映させる町になってほしい。



志村 涼風さん  
大学生

### P.1 表紙「櫛形山の自然を未来へつなぐ」

「櫛形山を愛する会」は登山道の整備や、鹿の食害から植物を守る保護柵の点検などを行っています。汗を流す作業の先には豊かに咲く花々や、よみがえる自然との出会いがあり、それが私たちの喜びです。

### P.2 目次

#### P.2~ 町民の皆さまの新年の抱負と町政への願い

#### P.4~ 12月定例会で決まったこと

#### P.6~ 一般質問

1. 鮫田 洋平議員
2. 望月 眞議員
3. 神田 雅也議員
4. 小林 和良議員
5. 宇田川 朱恵議員
6. 小林 有紀子議員

#### P.9 臨時会

#### P.10~ 事務組合議会

#### P.12 委員会活動 まちづくり常任委員会

#### P.13 委員会活動 ひとづくり常任委員会

#### P.14 行政視察研修

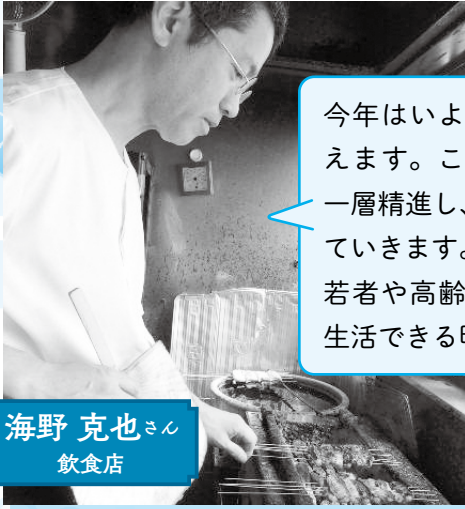
#### P.15 モニターさんからのご意見

#### P.16 裏表紙 富士川町今昔物語

# 2026

町民の  
皆さまの

# 新年の抱負と



海野 克也さん  
飲食店

今年はいよいよ還暦を迎えます。これからもより一層精進し、仕事を頑張っていきます。  
若者や高齢者が安心して生活できる町を望みます。

バイクに乗る時は、生と死の中間で運転をしていると思っています。楽しく安全に乗りたいと思います。  
安全に通行出来る道路を望みます。



長澤 誉博さん  
自営業



望月 勇太さん  
農業

今年是人との出会いを大切に、交流を広げながら健康第一に過ごす。  
中山間地域の交流拠点など賑わいを創出して欲しい。

心穏やかに、笑顔多い一年になりますように。  
日々の暮らしを少し支えてくれる町であってほしい。



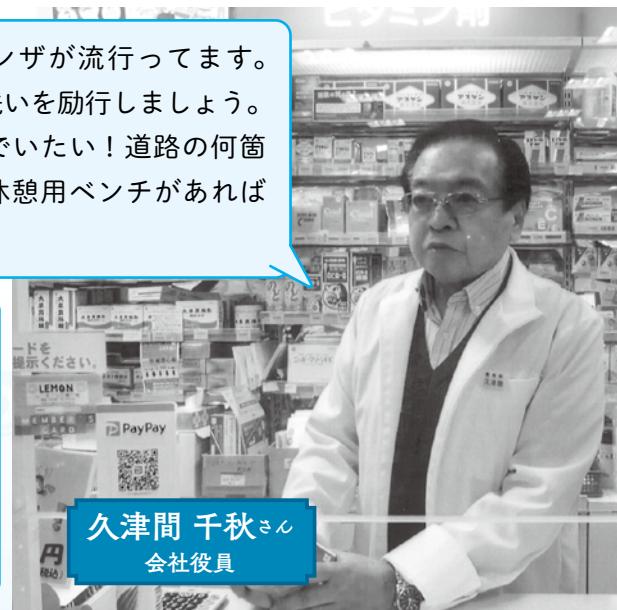
竹内 緒理温さん  
会社員



飯田 正明さん  
会社員

家族みんな元気に過ごし、新しい事に挑戦する一年にしたいです。  
子どもたちが安全に楽しく遊べる施設や、公園の修繕や新設をしてもらいたいです。

インフルエンザが流行ってます。うがい、手洗いを励行しましょう。今年も元気でいたい！道路の何箇所か歩行者休憩用ベンチがあればいいですね。



久津間 千秋さん  
会社役員

# 12月定例会 で決まったこと

令和7年12月定例会を12月5日から12日の8日間開催した。  
条例制定案1件、条例改正案3件、補正予算案7件、組合規約変更案2件、人事案1件、組合議会議員選挙1件を慎重審議し、全会一致で原案のとおり可決した。

## 物価高騰で給食材料費増額！

● 一般会計補正予算 **2,178万円増**

● 補正後の予算総額 **95億6,053万円**

### おもな一般会計補正予算

◆ガバメントクラウドファンディング	155万円
◆保育所給食賄材料費	270万円
◆学校給食賄材料費	248万円
◆町道青柳32号線歩道舗装工事	230万円
◆J-ALERT受信機更新工事	365万円
◆人事院勧告による給与費等	7,508万円



スポーツ振興で着ぐるみを作成予定  
「クリファくん」



歩道舗装が行われる青柳32号線

## 質疑

主な質疑を掲載

富士川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
(誰でも通園制度)

問 避難訓練の内容は。

答 各保育園で項目を決めて計画的に行う。例えば、地震であれば自由遊び中などに設定して訓練を行う。

問 安全計画の見直しの頻度は。

答 年1回行う。

問 保育士不足が言われている中で誰でも通園制度が保育士や施設の負担にならないか。

次のページへ続く

**答** 現在、一時預かりの利用にまだ余裕があるので、一時保育も併用する中で対応していく。

**問** 保護者負担や給食費、おやつ代の設定は決まっているのか。

**答** 保護者負担は、一時間あたり300円程度であるが、国からの通達が来ているため、今後、検討する中で決定していく。

#### 補正予算案について

**問** 指定寄付金155万円の内容は。

**答** スポーツ振興などのガバメントクラウドファンディングである。

**問** 障害児入所給付事業800万円の増額は、人数が増えたのか時間が増えたのか。

**答** サービスの延件数が、昨年度より10%増えたため。

**問** 町内河川伐木工事100万円の内容は。

**答** 地域からの要望があり小林地内の長沢川の遊歩道で、伐木は「くぬぎ」など10本、剪定は「けやき」など14本である。

**問** J・A・L・E・R・T受信機更新工事365万円の内容は。

**答** 令和8年度に気象庁のデータが地域単位で細分化するため、それに対応するための更新工事である。

**問** 土木費国庫補助金1685万円の減額の理由は。

**答** 昨年度申請した補助金が交付決定したため。減額となった工事



伐木工事が行われる長沢川遊歩道

の今後の見通しは。  
**答** 来年度以降、地方創生交付金を確保する中で工事を進めていく。

**問** 消火栓設置工事223万円の設置場所は。

**答** 小林地内の稻荷神社から北西に100mの場所と天神中條地内の広域農道沿いの計2ヶ所である。

## 人事案

### ■人権擁護委員

増原 俊郎(再任)

(任期：令和8年7月1日から令和11年6月30日)

### ■中巨摩地区広域事務組合議会議員選挙

欠員に伴い、新たに選挙を行い、望月眞議員が当選した。

## 請願を採択

医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定を求める請願書

### ■趣旨

全国の医療機関では経営悪化が深刻化し、倒産や休廃業が相次いでいる。医療従事者の処遇も改善されず、人手不足が地域医療の崩壊を招きかねない状況である。地域の医療体制を守るため、診療報酬の抜本的な見直しを強く求める内容の意見書を国へ提出願う。

■措置 意見書提出

# 一般質問



動画はこちらから



通告一覧全ての問と答は掲載されてはおりません。二次元コード及びCATVをご視聴ください。

## 通告一覧

### 1 鮫田 洋平 議員

- 登録制町内事業者マッチング窓口の設置について
- 町民プールの改修と有効活用について

### 2 望月 眞 議員

- 鰍沢小学校の旧鰍沢中学校への移転計画について
- 「富士川町歴史文化館塩の華」の維持管理と運営について

### 3 神田 雅也 議員

- グリーンスローモビリティについて

### 4 小林 和良 議員

- 町のBCP(業務継続計画)について
- 災害時における受援体制について
- この4年間の町政運営の総括について

### 5 宇田川 朱恵 議員

- ゼロカーボンシティの取り組みについて
- いきいきスポーツ公園人工芝グラウンドについて
- 令和8年度以降の森林環境譲与税の活用について

### 6 小林 有紀子 議員

- 「重層的支援体制整備事業」の推進について
- がん対策の推進について
- 防災対策の推進について

## 鮫田 洋平 議員



**問** 町民の安心安全と地域コミュニティを強化する仕組みとして、登録制町内事業者マッチング窓口を導入する考えがあるか、町長の見解は。

**町長** 登録制町内事業者マッチング窓口の設置は、行政としての法的な観点や運用上の注意点・問題点を慎重に検討する必要がある。商工会などの他団体との連携についても、検討していき、最適な仕組みが構築できるかなどをしっかりと調査研究を進めていく。

**問** 町内業者マッチング窓口の導入は

**答** 最適な仕組みを調査研究する

町民プールの小中学生への無料開放は

**問** 町の総合計画とSDGsの理念に基づき、町民プールを町内の小中学生を対象に無料開放できないか。

案しながら持続可能な運営方法を確立し、子どもたちが気軽に利用できる施設として有効活用を図っていきたい。

### 生涯学習課長

町民プールの町内小中学生への無料開放は、子どもたちの健全育成と健康増進を図る上で極めて有効である。実現に向けて財政状況を勘



町内小中学生無料化を



**問** 旧鵜沢中の改修内容は

**答** 小学生に合わせた仕様にする

**問** 校舎移転に伴い旧鵜沢中学校校舎の改修工事が必要となるが、改修内容は。

**教育長** 鵜沢小学校校舎は、築59年が経過し改修が必要な時期を迎えている。富士川中学校が、本年4月に開校し、隣接の旧鵜沢中学校校舎が空いたことから、鵜沢小学校校舎を改修するのではなく築年数が少ない旧中学校への移転を計画している。旧鵜沢中学校の改修内容については、現在検討中であるが、小学生と中学生の体格の違いによる使いづら

さ解消のため、教室等を小学生の身体に合わせた仕様に改修するなど、児童が安心・安全に学校生活が送れるよう対応する。

**問** 現時点における改修時期は、富士川町学校施設長寿命化計画において現時点では令和9年



より良い教育環境整備を



**問** グリーンスローモビリティの利点と問題点は

**答** 気軽な乗車の反面、長距離移動が難しい

**問** 実証実験を終え、見えてきた利点や問題点は。

**防災交通課長** 実証実験により、見えてきた利点としては「コンパクトな車体で、狭い道での運行が可能であること」「乗り降りしやすい、気軽にご乗車いただけること」「また「開放感があり、景色を楽しみながらご利用いただけること」などが挙げられる。

れていることから、長距離移動では便数が限られてしまうという点であると考えている。このようなことから、観光での利用について、今後慎重に検討していきたい。

**問** 観光客の足として検討をしているか。

**産業振興課長** グリーンスローモビリティについては、イベントでの実証実験において、一定の成果が見られた。しかし、実際に観光客の移動手段としては、運行条件や需要の把握などが、整理すべき



実証実験をしたグリーンスローモビリティ



**問** 災害時における  
受援体制について

**答** 現在、受援計画の  
策定作業を進めている

**問** 大規模災害時には、外部からの応援を円滑に受け入れる受援体制の整備が不可欠である。本町の受援計画策定の状況は。

**防災交通課長** 現在、地域防災計画に基づき、他自治体や民間企業等との協力体制を整えている。また、受援計画を策定することで、人的支援の受け入れを整理する担当の明確化や全体調整など、災害時の受け入れ体制を迅速に整えることができる。こうしたことから、現在策定作業を進めている。

**4年間の町政運営の  
総括について**

**問** 町長が掲げたテーマ「対話と現場主義による協働のまちづくり」について、その成果および達成度をどのように評価されているのか。

**町長** 様々な政策の起点は、町民との対話の中から生まれてくる。また、現場で起きている隠れた問題点を捉えるためには、多くの町民の声を政策に反映させていくために対話を重視してきた。これにより、中学校の統合な

ど大きな課題解決はもちろんのこと、子育て支援など、普段の生活の中での課題などを数多く捉え施策に取り組むことができた。



政策の起点は町民との対話から  
「ほっとミーティングの様子」



**問** リユース食器普及の  
取組は

**答** 関心が持てるよう  
積極的に周知を行う

**問** ゼロカーボンシティへの取組のひとつとして、リユース食器普及の課題解決の取組は。

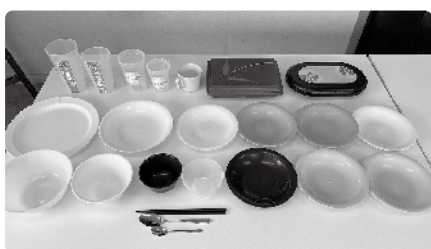
**町民生活課長** 食器の種類により補助額にばらつきがあるため、見直しを検討していく。また、リユース食器貸出事業者と連携し、利用手続きなどの簡素化や、さらなる利用者の負担軽減を図っていく。さらに、環境問題に関心を持ってもらえるよう町のイベントでも積極的に周知を行い、利用者の増加を進め、地球温暖化防止に努めていく。

**いきいきスポーツ公園  
人工芝のマイクロプラ  
スチック流出対策は**

**問** 流出対策として、フィルター設置などの物理的対策、利用者への協力の呼びかけ、維持管理などの観点から町の考えは。

**生涯学習課長** マイクロプラスチック問題は、海洋汚染をはじめとする環境問題として、近年、国際的にも重要な課題として認識されており、本町としても、適切な対応が必要である。具体的には、排水溝へのフィルター設置や、グラウンド周

囲へのネットの設置などが、有効な手段の一つであると認識している。こうしたことから、他の自治体における先進事例や効果的な工法など調査研究を進めていきたい。



ゴミが少なくなるリユース食器



**問** 外部講師の活用を含めた小中学校の学校現場におけるがん教育の取組は。

**教育総務課長** 増穂中学校で令和5年度に県教育委員会からがん教育推進校に指定され、がん体験者3名を外部講師として招き、実体験をもとにした話を聞く中で意見交換を実施した。児童生徒が自己の健康管理に関心を持ち、将来的に健康的な生活習慣が身につくように、引き続き、より効果的ながん教育に努める。

**問** 学校現場のがん教育の取組は

**答** 効果的ながん教育に努める

**女性防災リーダーの取組は**

**問** 町の地域防災計画に自主防災組織の編成及び活動として、女性防災リーダーの育成の取組は。

**防災交通課長** 町の地域防災計画に掲げる自主防災組織の編成及び活動において、女性の参画は、多様な視点で対応が可能となることから重要である。地域防災リーダー養成講座を受講していただいた女性13名については、リーダーとして活躍が見込まれる。今後も女

性リーダーを増やすため地域防災リーダー養成講座を活用し、多くの女性に参加していただけるよう、内容を工夫するとともに、必要性について周知していきたい。



外部講師を活用した講演会 (出典 文部科学省)

## 令和7年度 第4回 臨時会

11月10日に臨時議会が開催され、契約締結案3件を審議し、全会一致で可決した。

### 1. 天神ゆずっこ保育園園舎大規模改修工事請負変更契約

- 契約の相手：昭和建設工業株式会社
- 契約額の変更：1億697万5千円→1億928万5千円231万円の増(追加工事のため)
- 工期の変更：令和7年12月15日→令和8年3月16日に延長

### 2. 増穂小学校トイレ他給排水管改修建築主体工事請負契約の締結

- 契約の相手：昭和建設工業株式会社
- 契約金額：8,580万円
- 工期：令和8年10月30日まで

### 3. 増穂小学校トイレ他給排水管改修機械設備工事請負契約の締結

- 契約の相手：雨宮工業・梶本管工・増穂小学校トイレ他給排水管改修機械設備工事共同企業体
- 契約金額：1億7,072万円
- 工期：令和8年10月30日まで

**問** 総合評価方式導入による一般競争入札であったため、落札率も高く、競争原理が働かない。問題ではないか。

**答** 競争原理が働いていないことはないが、今後検討はしていく。

# 事 務 組 合 議 会

## 三郡衛生組合議会

令和7年11月11日第2回定例会が開催され、一般会計、し尿処理事業特別会計、火葬事業特別会計3会計が審議の末認定された。し尿処理事業にあっては、最近の処理量は開設当初の約65%であったが、令和6年度から、南アルプス市の北部地域の受け入れを開始したため開設当初に近づいた処理量になってきた。

### 令和6年度決算

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	3,326万円	489万円
し尿処理事業特別会計	3億6,389万円	4,239万円
火葬事業特別会計	2億1,211万円	2,138万円
合計	6億926万円	6,866万円

## 峡南広域行政組合議会

令和7年10月9日第2回定例会が開催され、令和6年度決算が認定された。

人事案件では当組合監査委員は再任、新構成は議長：井上光三(富士川) 副議長：望月小五郎(南部) 議会運営委員長：佐野知世(身延) 副委員長：望月小五郎(南部)に決定した。

### 令和6年度決算

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	25億9,883万円	3億4,718万円
情報センター特別会計	4,344万円	2,099万円
介護保険特別会計	2億696万円	2,699万円
合計	28億4,923万円	3億9,516万円



現在は建設中の新庁舎  
(令和7年12月撮影)

## 峡南医療センター企業団議会

令和7年8月29日、第2回定例会が開催され、条例改正案2件、令和7年度補正予算案1件、令和6年度決算案1件を原案のとおり可決、認定した。

### 令和6年度決算

会計名	決算額
営業収益	39億6,346万円
営業費用	48億7,149万円
営業利益(損失)	△9億803万円
営業外収益	5億9,143万円
営業外費用	1億9,095万円
経常利益(損失)	△5億755万円
当期純利益(損失)	△5億692万円

## 中巨摩地区広域事務組合議会

令和7年10月6日、第2回定例会が開催され、令和6年度決算を認定した。

富士川町負担金は対前年度比172万円の増額となった。要因はごみ処理事業費の増によるものである。

令和6年度決算

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	6,784万円	522万円
ごみ処理事業特別会計	15億5,437万円	1億 213万円
地区公園事業特別会計	1,107万円	83万円
老人福祉事業特別会計	2,856万円	193万円
勤労青年事業特別会計	5,131万円	389万円
し尿事業特別会計	2億6,159万円	0円
合計	19億7,474万円	1億1,400万円

## 山梨西部広域環境組合議会

令和7年10月6日、第2回定例会が開催され、報告案2件、条例改正案3件、令和7年度一般会計補正予算案1件、令和6年度一般会計決算認定案1件を原案のとおり可決、認定した。

令和13年開業に向け予定どおり進んでいるが、地権者からの同意が得られていない土地があり、補正予算に土地収用法に関する経費が計上された。

令和6年度決算

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	2億6,798万円	1,035万円



造成が進む建設地(中央市浅利地区)  
組合HPIにて毎月更新中

## 山梨県後期高齢者医療広域連合議会

令和7年10月30日に第2回定例会が開催され、同意案1件、報告案1件、承認案2件、令和6年度一般会計及び特別会計決算の認定、令和7年度一般会計補正予算案1件、令和7年度特別会計補正予算案1件を原案のとおり同意、承認、認定、可決した。令和6年度特別会計の歳出総額は1,175億3,393万円。補正後の令和7年度特別会計歳入歳出予算総額は1,244億8,237万円となる。

後期高齢者医療制度は、75歳以上（一定の障害がある場合は65歳以上）の方を対象とした医療保険制度で、保険料(約1割)現役世代からの支援金(約4割)公費(国・県・市町村)(約5割)により支えられている。

後期高齢者  
(被保険者)

対象者

- 75歳以上の方
- 65歳～74歳で一定の障害がある方



(出典 山梨県後期高齢者医療広域連合)

# 委員会活動 まちづくり常任委員会

## 公営企業についての研修会

まちづくり常任委員会では、令和7年11月5日に公営企業会計に関する研修会を実施しました。

公営企業会計は、一般会計の会計制度とは異なるルールで運用される部分もあり、議会における予算審議や決算認定において正確な理解が求められます。

今回の研修では、共通の認識を確認するため町の上下水道課職員に講師を依頼し、公営企業会計の基本的な考え方や財務書類の読み解き方、各事業の現状について確認しました。委員会としても、議会での質の高い議論につながるため、大変有意義な機会となりました。

なお、上下水道課における公営企業は、水道事業・簡易水道事業・下水道事業の3事業です。

住民の皆さまにより良い行政サービスを届けられるよう、今後も議員としての知識向上やレベルアップに向けた研修を継続して実施してまいります。



## 次期活動予定

まちづくり常任委員会では、次期活動予定として、富士川町最勝寺にある森林総合研究所の視察研修を予定しております。

森林総合研究所は、すばらしい森林環境を創り出していくため、森林資源を有効に活用していくため、育林・育種・森林保護・環境保全など、幅広い分野において研究を行っている山梨県管轄の施設です。また、山梨県立農林大学校富士川キャンパスも併設されております。富士川町は町域の約8割を山林が占めており、森林資源の有効活用は、今後のまちづくりを進めるうえで重要な要素となっております。

今回は、その研修を通じて、森林の適切な管理や資源活用の取り組みについて理解を深め、本町の持続可能なまちづくりにどのように活かしていけるのかを学ぶことを目的としております。



森林総合研究所

# 委員会活動 ひとつづくり常任委員会

## 議会から提言書提出

令和7年11月10日にこども議会にて出された提案を町長、教育長に提出しました。

### 提言書文

令和7年7月31日に開催された「富士川町こども議会」において、10名のこども議員から、富士川町へ貴重な提案がありました。

提案は、こどもの視点を通して日々の生活の中から見えた町の姿について、町の未来を真剣に考え、提案されたものです。

別紙に添付したとおり、こども議員からなされた提案の内容を尊重し、実現可能なものから実行に移していただくよう提言します。

また、こどもの意見を聞く場、民主主義を学ぶ場、政治を学ぶ場としてこども議会の継続への協力を求めるとともに、こどもの意見を町の政策に反映させるよう富士川町議会から合わせて提言します。



### 別紙：こどもたちからの提案

1. プログラミング教室の開催
2. 芸能人などの有名人とコラボした町おこし  
・サプライズ企画としての芸能人の学校訪問
3. リニア建設の反対  
・環境を守り、地球温暖化に配慮したまちづくり
4. 富士川病院の存続と学校での医師、看護師の授業の実施
5. 戸川の河川整備
6. 犬のフンのないまちづくり
7. こどもチャレンジ教室の開催
8. ホリデーバス、コミュニティバスの障がい者、高校生の無償化
9. 商店街の活性化
10. 自転車通行路の周知と自転車交通安全教室の実施  
※富士川町議会としても、こどもの声を議会活動に反映し、より良い町づくりに尽力します。

## 請願審査

請願審査とは、政策についての意見や要望を伝える請願を、担当の委員会で審査し、本議会で採択するかを決定する手続きです。

ひとつづくり常任委員会では、令和7年9月議会2件、12月議会1件の請願を審議しました。

### 9月議会

■ **学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書**

背景に、学校現場の課題が増加していることなどにより教職員の働き方改革が進まないこと、厳しい教育予算の現状があります。

■ **「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書**

背景に、えん罪被害者を救済するための再審法に再審請求手続きの審理のあり方に関する規定がほとんどないため、えん罪被害者の再審公判が開かれるまでが長期に渡っていることがあります。

### 12月議会

■ **医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定を求める請願書(5ページ参照)**

いずれも、請願者の方からは丁寧な説明や資料の提示があり、慎重に審議しました。



# 行政視察研修

## 富士川町議会 議員行政視察研修

**実施日** 令和7年10月21日(火)～22日(水)

**研修場所** 静岡県牧之原市

**参加人数** 12名

### 研修内容

静岡県牧之原市の「GasOneアリーナ牧之原」は、県内初のZEB Readyの認証を取得した多目的体育館で、平時は市民の交流拠点、災害時は避難所として機能している。ガスヒートポンプ式空調により、災害時も安定した温度管理が可能で、浜岡原発が近い放射線防護機能も備えている。視察では設備や災害対応について学び、9月の竜巻被害の話から避難施設の重要性を再認識した。



GasOneアリーナ牧之原での行政視察研修

## 幸田町 議会BCP

幸田町における議会BCP（業務継続計画）の研修は感染症予防のため中止となったが、事前に質問事項を提出しておいたため、後日回答をいただいたものを下記に抜粋した。

**Q.** 災害発生直後、議員はまず何を優先して行動するのか。

**A.** 議員は住民支援と議会機能維持の両方の役割を求められる。どちらを優先すべきか明確にはしていないが、「災害発生時の初動に当たっては、地域役員と連絡を取り合って住民の被災状況を把握するとともに災害状況を支援本部に報告し、支援本部の助言を受けながら適切に対応する」としている。

**Q.** 町災害対策本部との関係はどのように考えれば良いのか。議会独自の情報発信は想定されているのか。

**A.** 町災害対策本部とは連携・相互協力の体制にあり、お互いに把握した災害情報を共有している。

また、議会独自の情報発信は想定しておらず、町災害対策本部や議会で知った情報を全体で共有することを想定している。

**Q.** BCPを作成・改訂する議会に対して、特に伝えたい経験や工夫、アドバイスは。

**A.** 平時と異なる体制、運営等を独自に定めておくことが必要不可欠と感じる。予想される災害の種類は地域によって違う。自分の町が大災害に見舞われたときに、策定した議会BCPがどれだけ活用できるか、考慮して作成すること。

\* 幸田町の議会BCPは非常に参考になった。富士川町でも活かしたい。

# モニターさんからのご意見



## 表紙・巻頭写真

1頁

- たくさんの子どもたちの写真があり取り組みが分かりやすく良い。
- 子ども議会、開催の様子が伺えて良かった。
- 子ども議会での真剣な表情の写真が使われ好感が持てた。

## 令和7年度子ども議会開催

2～5頁

- 子どもたちの提案が身近な問題から色々な意見が出て感心した。
- 若者の意見を伝える場を設けることは良いことです。
- 提案、講評、感想が分かりやすくまとめられ読みやすく、どの提案も興味深かった。

## 議会懇談会 意見・要望

6～7頁

- 読みやすいレイアウトだと思いました。
- 耳の痛い意見もあり、隠さず公表している潔さを感じた。
- 意見、要望が町政に反映していくのか楽しみにしています。

## 令和6年度 決算認定

8～9頁

- 写真を多く使ったレイアウトでとても分かりやすかった。
- 財政を見る3つのポイントの説明があり分かりやすかった。

## 決算特別委員会レポート

10～11頁

- まちづくりとひとづくりに分けてあり分かりやすかった。
- 他のページと比べると空白が多く内容が少なく感じた。もったいないと思った。
- 写真があり分かりやすい。

## 9月定例会で決まったこと

12～13頁

- 13頁の条例改正案4項目の「問」が何に対しての問か分かりにくかった。
- レイアウトがすっきりとして分かりやすく良いと思います。

## 請願2議案、発議1議案

### 決算審査意見、市川三郷病院が診療所に 14頁

- 市川三郷病院が診療所になる経緯が、町民に分かりやすく伝えていると感じた。

## 一般質問通告一覧・一般質問

15～18頁

- 文字だけでなく画像もありとても分かりやすいです。

## 広報常任委員会研修

18頁

- 研修の成果を活かした議会だよりを楽しみにしています。

## モニターさんからのご意見

19頁

- みなさんの意見が参考になる。

## 議会の放送をご覧ください

19頁

- 町のホームページから「一般質問(録画)」にたどり着けない。

## 今昔物語

### 町の東部開発はここから始まった 20頁

- 貴重な写真を見ることができ資料提供に感謝します。
- 青柳東部開発の変遷がよくわかり懐かしく感じました。



## その他、議会だより、議会活動、町政全般についてご意見、ご要望、質問など

- レイアウトの工夫がみられ読みやすかった。

## 富士川CATVによる 議会の放映を ご覧ください

定例会の議長あいさつ、町長所信表明および一般質問の様子は定例会開催月の下旬から富士川CATV(11ch)でご覧いただけます。

日程は、富士川CATV番組内の「富士川町からのお知らせ」および町のホームページの「富士川町からのお知らせ」をご覧ください。

なお、放映終了後に町のホームページにおいても視聴することができます。

スマートフォンは  
こちらから



### ホームページ掲載場所

富士川町ホームページ

くらし・町政

富士川町議会

定例会議・臨時会議

一般質問

録画



# 富士川町

# 今昔物語

くらべてみました、  
変わりゆくわが町の今と昔

## 鰍沢 山車行列の歴史を紐解いてみました

～ 明治・大正・昭和・平成・令和と守り続けてきた伝統文化 ～

富士川町内にある神社や祠などでは、それぞれの季節ごとに祭礼がおこなわれる。このうち、神輿の渡御と山車で知られるのが、鰍沢地区の「八幡さん」の祭礼である。この八幡神社の祭典に山車が引き出されるようになったのは文政9年（1826年）のことといわれ、養蚕の盛行と豊作を祈願する例祭として4月15日と10月10日の春秋2回行われるようになってからといわれる。

山車はかつて、各町（地区）ごとに計6～8台あったが、数台が水害や変遷によって流出・減少したため、現在は上町、八幡町・緑町、仲町、本町が所有する4台が残された。昭和49年（1974年）旧鰍沢町指定文化財となった。

起源は江戸時代、嘉永3年（1850年）とされ、そこから長い歴史の中で継承・途絶・再興を経て祭りの形を整えた。

山車は、径176センチ大輪の上に屋根までの高さ424センチの回り舞台が乗る。例祭日になると各町で組み立てられ、それぞれ工夫を凝らした飾り付けがされ、終わると再び解体されて収納されるという。

この舞台の上には、宿場町として隆盛を誇ったころは「きれいどころ」が乗って華やかさを競い、また舟運の面影を伝えるかのように山車同士が威勢よく激しくぶつかり合うこともあったという。

さらに、山車の上で演奏される「鰍沢ばやし」が祭り気分を一層高揚させた。「鰍沢ばやし」は江戸末期に京都の「祇園ばやし」が伝わり生まれたといい、4月15日の春例祭のとき6～8台の山車の上で演奏された。まだ富士川舟運が盛んだった明治34年（1901年）頃までは、舟運の船頭や宿場の人々が中心となって継承したといわれる。構成は太鼓が大1、小6、横笛2、すり金2といったもので、曲目は「鰍沢ながし」から「4丁目」「はぎはら」と続き、最後は「雨だれ」で終わった。

山車は八幡神社の例祭のほか、昭和3年（1928年）の昭和天皇の御大典のときにも出たと記憶する人もあり、この御大典が一つの区切りとされ、現在の「山車巡業祭り」に通じる祭りの始まりとされている。



昭和20年代(写真提供：樋口幸夫氏)



昭和50年頃(写真提供：寺野晋氏)



昭和56年(写真撮影：村田一夫氏)